# あいあい適信



2015.1 Vol. **5** 

新体制特別号

新体制常勤ドクター紹介	2
特集 直腸脱	4
『松田病院健康講座』を開催しました	5
ノロウイルスの予防	6
院長の一言メッセージ	7
慢性便秘の治験にご協力ください	8
職員募集	8



## 新体制学学がデクター紹介

1月より松田聡医師が加わり、常勤医 10名の新たな体制でスタートしました。 「奉仕の心と高い技術」をモットーに、患者さんに満足していただける医療を目指します。



### 副院長 医局長 IBDセンター長

担当:胃腸・肛門、IBD

胃腸・肛門の診療の他、院長、川 上副院長とともに炎症性腸疾患(潰 瘍性大腸炎・クローン病) の診療を 担当しています。潰瘍性大腸炎では

ステロイドの効果不十分・減量困難な患者さんや、発作を繰り 返す患者さんには、アザニン・イムラン・ロイケリンなどの免疫 調節薬や白血球除去療法、さらにはプログラフ、レミケードやヒュ ミラなどを適宜組み合わせて治療しています。クローン病におい ても禁煙や食事の指導・栄養療法とともに、必要のある患者さ んには早めにレミケードやヒュミラを導入し、入院や手術が少な くなるように努めています。

\*炎症性腸疾患(IBD):クローン病、潰瘍性大腸炎を主とする原因不明の疾患。 主に腸の粘膜に炎症や潰瘍を生じ、下痢や腹痛、下血などをきたす。医療費の 助成制度があり、2015年からは新たな法律の下での制度となった。



### 院長 肛門病センター長 松田 保秀

担当:胃腸·肛門、IBD、女性専門外来、 便秘、IBS

これまで関わってきた、肛門疾患、 胃・大腸がん、大腸ポリープをはじめ、 潰瘍性大腸炎、クローン病などの炎症

性腸疾患(IBD)などは時代とともに変化し、ありふれた病気 となってきました。それと共に治療法が急速に進歩し、より侵襲 の少ない治療ができるようになりました。肛門疾患は入院期間 が 10 年前の半分以下となり、痛みの少ない、より早い社会復 帰が可能となりました。大腸がんは早期診断を行ない、超高 齢者にも手術の適応が拡がっています。一方で、当院では「便 もれ、排便障害」などの機能性疾患に対しても積極的な取り 組みを行っており、患者さんの生活の質が向上するよう種々の 悩みを含めて対応するようにしています。

\*機能性疾患:過敏性腸症候群(IBS)、肛門閉鎖不全、直腸脱、直腸瘤な ど臓器や器官などの動きが低下する疾患のこと。治療は検査結果や患者さんの 生活状況などから総合的に判断する必要がある。



担当:検診・消化器ドック、内視鏡検査

主に検診および消化器ドックを担当 しています。検診は、浜松市の特定 健診、がん検診、企業の定期健康診断、 個人健診、ピロリ菌検診等を行ってお

ります。消化器ドックは、半日・1 日・2 日コースにオプション検 査など、豊富なメニューをご用意しておりますが、まだまだ受け ていただける方が少ないため、もっとたくさんの方が快適に受 けていただけるように考えています。

また、大腸と胃の内視鏡検査も長年担当させていただいて います。ここ数年、ご高齢の方の検査もかなり増えてきています。 今後もできるだけ患者さんの苦痛が少なく、合併症を起こさな いよう安全第一を心がけていきたいと思っています。

検診などを通じて、地域の皆さまの健康に少しでもお役にた てれば幸いです。



### 副院長 診療部長 川上 和彦

担当:胃腸·肛門、IBD

がんを含めた多くの病気に、生活 習慣とストレスがかかわっていることが わかってきました。特に胃腸関係の病 気は食生活習慣が重要です。にもか

かわらず、現代はその「食」の部分が軽視される傾向にあります。 薬や手術は、治療のきっかけをつくるもの、あるいは応急処置 であり、ほんとうの意味での治療ではありません。毎日の食事 に気を遣い、適度な運動を心がけ、プラス思考とリラクゼーショ ンで、ほとんどの病気は治るはずです。健康管理の主役は、 あなたです。



相川 佳子

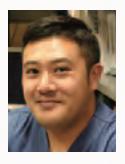
担当:胃腸·肛門、女性専門外来

大腸疾患から肛門疾患まで、消化 管全般の病気を扱う松田病院の中で、 女性である自分の特徴を活かせる診 療ができたらと考えています。実は女 性に多い、肛門疾患。なかなか敷居

が高いかもしれませんが、是非気軽に門戸をたたいていただけたらと思います。当院では週に 2 回、**女性専門外来**を開設しております。プライバシーに配慮し、できるだけストレスなく診療できたらと考えておりますので、気軽に相談にいらしてください。もちろん女性専門外来以外では、男性患者さんも大歓迎です。

ー期一会、担当させていただいた患者さんと誠心誠意向き合うことをモットーに診療に当たりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

\*女性専門外来:女性で肛門科を初めて受診される方を対象とした予約制の診療。 院長と相川医師が担当しています。スタッフは院長以外全て女性です。



甲田 貴丸

担当:胃腸·肛門

松田病院では、外来診療、内視鏡 検査、そしてお尻の手術とお腹の手術、 特に**腹腔鏡の手術**を担当しております。 以前に勤務していた国立がん研究セ ンター東病院での経験を松田病院で

活かせるように日々精進しています。

松田病院は医師、看護師、事務など全ての分野のスタッフが非常にプロフェッショナルな集団だと思いますので、わからないことなどあれば、どんな内容でも気軽にお尋ねいただければと思います。

\*腹腔鏡手術: "低侵襲手術"として知られ、おなかの傷をできるだけ小さくして、カメラでお腹の中を覗きながら特殊な手術器具を用いて行う手術。当院では早期胃がんや結腸・直腸がんに対して行っています。



松田 聡

担当:胃腸·肛門

東邦大学大森病院一般・消化器 外科では、13年間消化器外科医として様々な疾患の治療にあたってきました。その経験と、今まで松田病院を 支えてこられたスタッフが持つ多くの専

門技術、知識を融合させ、より健康で充実した毎日を皆様に送っていただけるよう貢献したいと思います。併せて特集のページもご覧ください。



ヘルニアセンター長 **野中 雅彦** 

担当:胃腸・肛門、ヘルニア外来

松田病院で主にヘルニア診療を担当している野中です。成人の**鼠径ヘルニア(脱腸)**などを対象とした「ヘルニア外来」を開設したのが 2004 年

でした。初年度は 71 例にすぎなかった症例数も 2014 年には 200 例を超え、10 年間の通算で 1,600 例以上のヘルニア手術を行うことができました。当院のヘルニア診療の特徴は、高齢者の方でも安心、安全に日帰りを含む短期入院手術で、早期に通常の生活に復帰できることにあります。

これからも皆様の期待に応えられる診療を行っていきたいと存じます。



<sup>外科部長</sup> 田中 荘一

担当:胃腸·肛門、排便機能外来

松田病院は大腸肛門疾患を中心に、幅広く消化管の診療にかかわっています。その中で私が特に興味をもって取り組んでいるのが、**排便機能と腫瘍**で

す。排便機能では、ようやく便失禁が病気として注目され出しましたが、まだまだ多くのお医者さんや患者さんには病気として認知されていないようです。**仙骨神経刺激療法**という新しい治療にも当院では取り組んでいます。お悩みの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

\*仙骨神経刺激療法:便失禁に対する手術療法のひとつで、仙骨神経に電極を埋め込み、電気刺激で肛門括約筋を締める療法。日本では2014年4月に保険適用となった。



### 内視鏡センター長 尾田 典隆

担当:胃腸·肛門、ESD

松田病院では肛門疾患の患者さんの多さに驚き、肛門手術の奥深さに感銘を受けました。多くの手術を経験し、自分を磨いていきたいと思っています。

そして内視鏡検査は、松田病院では胃・大腸合わせて年間 10,000 件以上行っていて、高度な技術が要求される内視鏡手術(ESD)の手技も確立しています。今後も先端の技術を取り入れながら、より安全で確実な治療を行っていきたいと思います。

\*ESD(粘膜下層剥離術):胃や大腸の早期がんや腫瘍を内視鏡で切除する方法。 松田病院は 2010 年に静岡県で初めて先進医療での認可を受けた。現在は保 険適用となっている。

# 直腸脱

週に一度、松田病院で手術・外来過に一度、松田病院で手術・外来を行うようになってから、早いまので2年が経ちました。このたびれる年11月いっぱいで、長年お世に戻ってまいりました。平成27年1月5日からは、正式に松田病院一般・計医となりましたので、何卒よろしくお願い申し上げます。

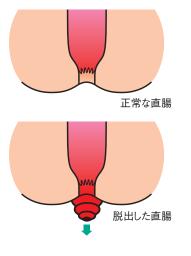
少しずつ体の奥の記憶が戻ってくる外になったり、よく通った駄菓子いそうになったり、よく通った駄菓子いそうになったり、よく通った駄菓子いそうになったり、よく通った駄菓子いそうになったり、よく通った駄菓子いそうになったり、よく通った駄菓子いそうになったり、よく通った駄菓子とも多いですが、遠州のからっ風をとも多いですが、遠州のからっ風をとも多いですが、遠州のからっ風を浴び、遠州弁の飛び交う中にいるととも多いですが、遠州のからっ風を浴び、遠州弁の飛び交う中にいると

は信号がなくても止ます。 浜松の 言葉を自然と思い出します。 浜松の 言葉を自然と思い出します。 浜松の ませんし、前にすごく遅い車がいれ も煽りませんし、渡る歩行者がいれ も煽りませんし、渡る歩行者がいれ が長かったためか、穏やかで親切な が長かったためか、穏やかで親切な が長かったためか、穏やかで親切な が長かったためか、穏やかで親切な が長かったためか、穏やかで親切な が長かったためか、穏やかで親切な が長かったためか。 また、車を らしいこの街に戻ってきたことをとて も嬉しく思います。 また、車を

腸脱」について紹介したいと思います。 一外科学講座」に入局し、その後講 一般・消化器外科」と名前を変えま したが、計13年間消化器外科医とし したが、計13年間消化器外科医とし した。今回はその中で、松田病院に した。今回はその中で、松田病院に を変えま がいても多く治療にあたっている「直 がいても多く治療にあたっている「直 がいても多く治療にあたっている「直

## 直腸脱とは

肛門から、直腸が脱出する病気で、 痔核(いぼ痔)とは異なります。高 齢女性に多い病気ですが、稀に男性 や若年者にもみられます。主に肛門 問囲の筋肉(骨盤底筋群)による直 周囲の筋肉(骨盤底筋群)による直 と推測されています。薬で治すのは と推測されています。薬で治すのは と推測されています。薬で治すのは とが弱くなることで起こり、 をが弱くなることで起こり、 とが弱くなることで起こり、



ます。

難となるため早めの治療をお勧めし

す例も少なくなく、

日常生活が困

松田 聡 医師 Satoshi Matsuda

### 症状

便秘や便もれ、疼痛、出血をきた 関心時だけ脱出する程度のものから、 病状が進行すると立っている時や、 歩いている時にも脱出するようにな り、さらには何もしなくても常に脱 出したままになることもあります。 民間が大きくなると、 高度の は別には が、 と立っている時や、 ます。 脱出が大きくなると、 高度の はいている時にも 脱出するようにな が、 さらには何もしなくても常に 脱 出したままになることもあります。 ます。 脱出が大きくなると、 高度の

### 治療

です。
前述のとおり、手術療法が必要

大きく分けて、①経肛門手術(脱出した直腸を肛門から中へ押し込む出した直腸をお腹側から引き上げられで消の手術)と、②経腹手術(脱出した直腸をお腹側から引き上げるタイプの手術)に分けられ、それでれのタイプの中にも複数の手術(脱出があります。

経肛門手術は**腰椎麻酔**(下半身麻酔)で行うため身体への負担は少ない一方、再発が多く(20%~40%)、ない一方、再発は少ない(10%以下)という特理があります。どちらのタイプの手機があります。どちらのタイプの手で選択するかは、患者さんの希望、人院期間、生活様式等を考慮して相談しながら決めていきます。

# 直腸脱は治る病気です!!

てしまうケースがあります。何の病さらには寝たきりに近い状態になっ勝脱のせいで引きこもりになったり、できるはずの元気な高齢者が、直本来は外出したり、旅行したり

医師をはじめ、各専門スタッフによ

**排便機能外来**担当医師の田中荘一なっている『**便秘・便もれ**』をテーマに、ました。 最近テレビ等でも話題と

1回松田病院健康講座を開催致し

平成26年10月19日、当院にて第

も検討していきたいと思います。

についてのご意見を多くいただきま

したので、管理栄養士による講演

る講演が行われました。

田中医師の話は、患者さんが言

ご高齢であることを理由に治療を諦しゃるものと思われます。または、人知れず悩まれている方も多くいらっ気かわからず、治る病気とも知らず、

せん。めている方もいらっしゃるかもしれま

肛門からの脱出が痔核なのか、直腸直腸脱は手術で治る病気です!

いただくことをお勧めします。が診断ができませんので、脱出を自脱なのかは専門家でなければなかな

# 『松田病院健康講座』を開催しました



様子 う「便秘」と専門医が指摘する「便 秘」は違う。毎日排便があっても お腹のなかに便が残っていれば「便 秘」であり、数日に1回しか排便 がなくてもお腹に残っていなければ 「便秘ではない」という内容で始まりました。便秘の種類(便が腸内でうまく運搬されずにおこる便秘、でうまく運搬されずにおこる便秘、 でうまく連搬されずにおこる便秘、 でうまくずかったと思います。

骨神経刺激療法』について紹介しました。この治療法』について紹介しました。この治療法は、ペースメーカーのような刺激装置を体内(皮膚)に埋め込んで、排便に関与する仙骨神経を刺激して便もれを改る山骨神経を刺激して便もれを改きしようというものです。今年1月

# システム管理部 寺田昌樹

その他、便秘・便もれの原因を表のと詳しく知りたい」など、食事のと前で、「薬を服用せず便秘予防の献めがりやすかった」「受講して良かった」とのご意見をいただきました。一方とのご意見をいただきました。一方とのご意見をいただきました。一方とのご意見をいただきました。一方とのご意見をいただきました。一方とのご意見をいたが、「薬を服用せず便秘予防の献き、「薬を服用せず便秘予防の献き、「薬を服用せず便秘予防の献き、「薬を服用せず便秘予防の献き、「薬を服用せず便を表した。」

# ノロウイルスの予防

たいと思います。ノロウイルスとしたいと思います。ノロウイルスとは、冬から春季にかけて流行するは、冬から春季にかけて流行するなウイルスです。感染力が強く、なウイルスです。感染力が強く、で、微量のウイルスにより感染します。具体的には、感染した便ます。具体的には、感染した便いで入る、生牡蠣などの食べ物、つに入る、生牡蠣などの食べ物、

げられます。調理された食材での感染などがあ

要により0.1%と0.02%に調象により0.1%と0.02%に調整します。市販品は何種類かありますので、成分表示を確認してください(市販のハイター、ブリーチは約5%です)。吐物や便にはウイルスが多く含まれていますので、片付けの際には手袋、エプロンで、片付けの際には手袋、エプロンで、片付けの際には手袋、エプロンで、片付けの際には手袋、エプロンで、片付けの際には手袋、エプロンで、片付けの際には手袋、エプロンで、片付けの際には手袋、エプロンでように注意して袋に入れ密封した後消毒します。カーペット、畳た後消毒できないものは熱湯をかけるか、スチームアイロンで85℃以上で1分以上加熱してください。

人工肛門の方がノロウイルスにかかった場合は、採便袋についている 乗する際には飛び散らないように 棄する際には飛び散らないように ま意し、廃棄後は手洗いをしっか はビニール袋に密閉して捨ててく ばどニール袋に密閉して捨ててく

ノロウイルスは感染対策を十分に行うことで防ぐことができ おす。対策は適切な手洗い、食べ物には十分火を通す、嘔吐、下物をしている人は調理しない、吐物や下痢便は適切に処理すること物や下痢便は適切に処理することがです。 中でも一番大切なのは手洗いです。 石けんと流水でしっかり き洗いをしましょう。

# リニューアルに向けて

新年に当たり皆様にご挨拶申し上9年もよろしくお願いいたします。

まで大腸肛門疾患・消化器疾患の当院は開院30年目を迎え、これげます。

病院として地域に貢献してまいりました。大腸肛門病センターとしての活動門病センターとしての活動でよいる面もあり、ハード・ソフト両面での見直しを迫られております。歳末には衆議院議員選挙があり、あっけなく自と・公明党の与党大勝で終わりました……。

今年は久しぶりに嬉しく元気の出るニュースをお届けできます。当院の今年の最大の目標は、患者さんへのサービス向上と診

的には、「診療待ち時間の更なる 短縮」「待ち時間の有効利用」「新 患者さんの早急診察」「院内設備 まさんの早急診察」「院内設備 まさんの早急診察」「院内設備 関間の合理化」です。さらに春には、 リニューアルの一環として、病棟の 整備および外来部門の拡張を計画 とています。

それに先立ち、平成27年1月5日からは、松田聡医師が当院の常野医師となります。これで常勤医師10名となり、若手医師の力を最いワーアップすることと思われます。パワーアップすることと思われます。イ甲前から松田病院大腸肛門有センターとして診療活動をしていますが、より専門的総合力をつけますが、より専門的総合力をつけますが、より専門的総合力をつけますが、より専門的総合力をしている方向性として、今年は次の点でが、より専門的総合力をつけますが、より専門的総合力を入れたいと思います。

①肛門疾患手術の更なる簡素

②腹腔鏡補助下手術の充実

④ヘルニア手術の腹腔鏡手術と ない、など)の専門的治療③排便障害(便もれ、便が出

の連携

⑥内視鏡検査とCT注腸検査の上手な使い分け

今回、当院も種々の変革が必要 ですが、いずれも超高齢化社会到 悪と「医療と介護の連携」という またものの延長線上にあることを えたものの延長線上にあることを をが、いずれも超高齢化社会到

7

タッフまでご相談ください。

(募集期間)

平成27年1月~3月(予定)

力頂ける方は、

お気軽に院内ス

ご興味のある方や治験にご協

### 職員募集



みませんか! 新しい職場で一 ◎看護師 ◎外科医 ◎放射線技師 一緒に働いて

お問い合わせ 事務部 平田・秋山 Tel.053-448-5121

てられています。 れ多くの患者さんの治療に役立 によって得られた貴重なデータに われている「くすり」も や安全性を確認します。 補」の試験のことです。 ただき実施される「くすりの候 治験とは、 ない方もいらっしゃると思います。 「治験」という言葉を聞き慣れ 効き目や安全性が認めら 患者さんにご協力い 「治験」 現在使 効き日

## ◎治験とは

ポスター

当院では、慢性便秘の方を対象とした治験を行っています。

慢性便秘の治験にご協力ください

◎慢性便秘の症状とは… お通じの回数が少ない

"いきみ" 排便時に以下の症状がある

年は、

川上医師のチェロ、相川

医師のビオラ、

倉田看護師のピ

アノによるコンサートとなりま

その日は午前の診療の時

リスマス会が開かれました。

12月25日の夜、

毎年恒例の

\*便が残っている感じがする\* "便が硬い"

など

?

◎この治験に参加いただける患 者さん

◎この治験に参加いただけない 的に約2ヶ月間通院が可能な方 前記の症状があり、 当院に定期

患者さん

しょうか?

大腸等の消化管に異常のある方

他にも基準があります

編







広報委員会

渡部真

達の姿に癒されたのではないで 奏を披露していました。 たが本番では一転して素敵な演 伝わってきてピリピリムードでし んにとっては普段とは違う医師 から、 演奏者の緊張感が 患者さ

### 診療のご案内

### 月1回、必ず保険証の提示をお願いいたします。 患者さんへお願い。

◇ご予約はお電話でも承ります。◇受診当日のご予約も可能な限り承ります。 外来診療は予約の方を優先させていただきます。予約のない方はお待ちいただく時間が 長くなることがあります。 ※急患の方はこの限りではありません。

胃腸・肛門外科	受付時間	月	火	水	木	金	土
	8:30~11:30						
	8:30~12:00						
	14:00~16:00						

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30						
11:00~11:30						
14:00~15:00						
14:00~15:30						
	8:30~11:30 11:00~11:30 14:00~15:00	8:30~11:30 11:00~11:30 14:00~15:00	8:30~11:30 11:00~11:30 14:00~15:00	8:30~11:30 11:00~11:30 14:00~15:00	8:30~11:30 11:00~11:30 14:00~15:00	8:30~11:30 11:00~11:30 14:00~15:00





特定医療法人 松愛会

〒432-8061 浜松市西区入野町753番地

ホームページ https://www.matsuda-hp.or.jp TEL.053-448-5121代 FAX.053-448-9753

バス=浜松駅バスターミナル5番ポール(宇布見、山崎行)乗車 東彦尾または西郵便局下車 徒歩5分 駐車場 180台 E-mail cra@matsuda-hp.or.jp

JR=浜松駅下車 タクシーで10分 高塚駅下車 タクシーで5分